

資料4

青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター

活動紹介

青森県・弘前大学医学部附属病院
脳卒中・心臓病等総合支援センター
社会福祉士 佐藤誠人

「循環器病の年齢調整死亡率の減少」と「健康寿命の延伸」に向けて、
県と密接に連携し、県内全体における包括的な患者支援体制を構築する。

活動のポイント

①循環器病の患者・家族の相談支援 ②循環器病の疾患啓発 ③医療従事者の横の繋がりの強化→病病連携の推進



基幹病院

全県的な相談支援体制の構築

- 各医療機関の患者支援センター、PSCコア施設の「脳卒中相談窓口」スタッフとの研修会・勉強会を実施
- 「脳卒中相談療養士」のネットワークを構築し、情報共有
- 県内基幹病院と「循環器病相談支援ネットワーク」構築→Web会議などで、研修会や事例紹介などを定期的の実施
患者・家族の声も情報共有



地域の病院

研修会・勉強会の開催

- <想定テーマ>
- ・臨床イナーシャの改善
 - ・アドバンスケアプランニング
 - ・患者の就労支援 など

地域連携パスの構築

疾病管理手帳の標準化

介護事業所

地域のリソースの把握

青森県

青森県循環器病
対策推進協議会

青森県心血管
疾患対策協議会

青森県脳卒中
対策協議会

青森県及び県協議会と密接に連携

脳卒中・心臓病等 総合支援センター

(弘前大学医学部附属病院)



看護師2名／社会福祉士1名／事務員1名を新規
(専任)に配置し、センター員は兼任を含めて15名
体制

<院内各職種と連携>

医師／看護師／薬剤師／リハ専門職／社会福祉士／管理
栄養士／臨床検査技師／臨床工学士／放射線技師 等

電話・メール・Webによる 相談対応

- ・Web (Zoom) による双方向的相談
- ・遠隔相談 (支援) を実施

患者・家族



公開講座、マスメディア活用 による啓発

- ・公開講座は医師のほか多職種による講演を実施
- ・マスメディア活用による全県的な啓発活動
- ・市町村教委と連携し、学校で健康講座を開催

県民



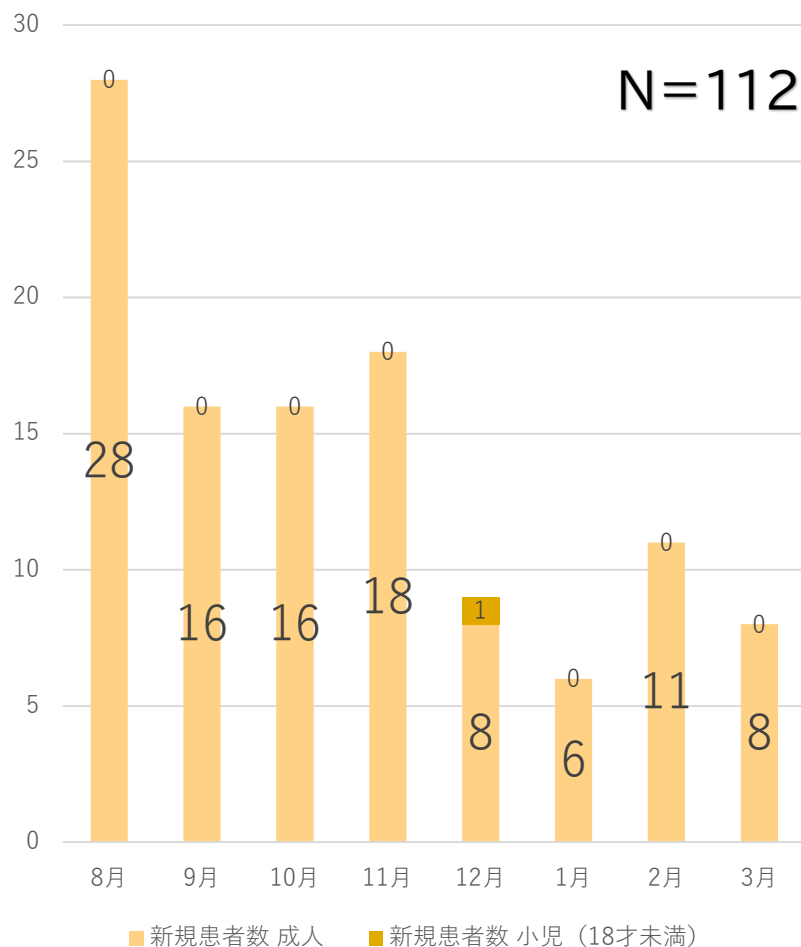
啓発資材の開発

- ・脳卒中・心臓病それぞれについて、急性期・回復期・維持期の留意点を含め、多職種の視点で複数作成、HPでも公開

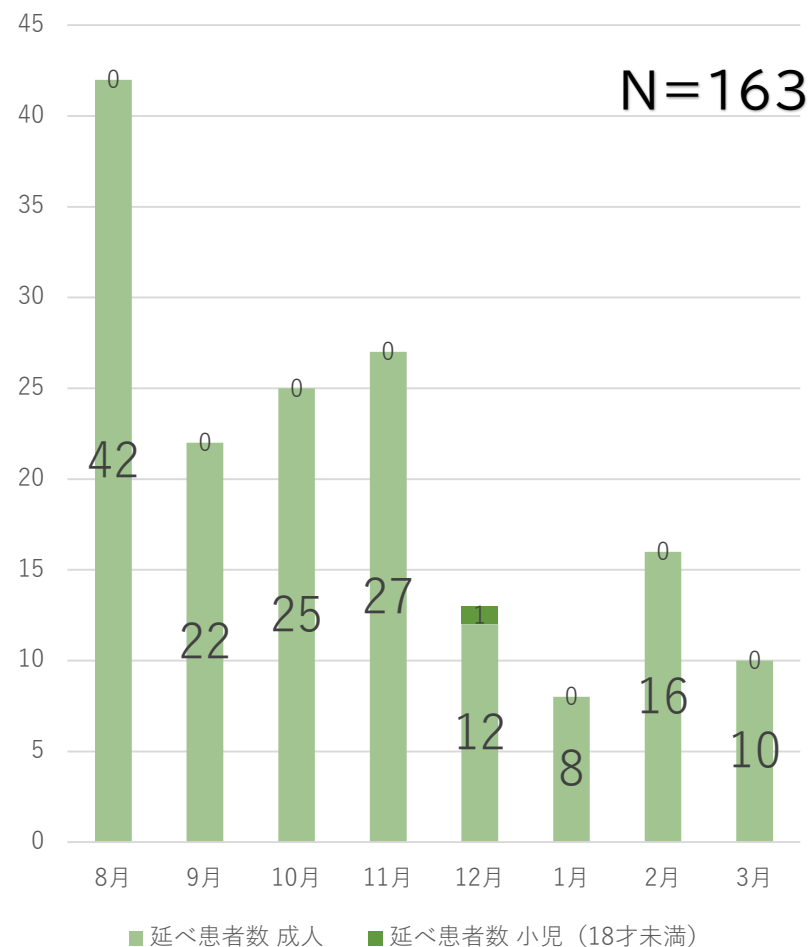
相談支援

支援患者件数(2023.8.1~2024.3.31)

新規患者件数



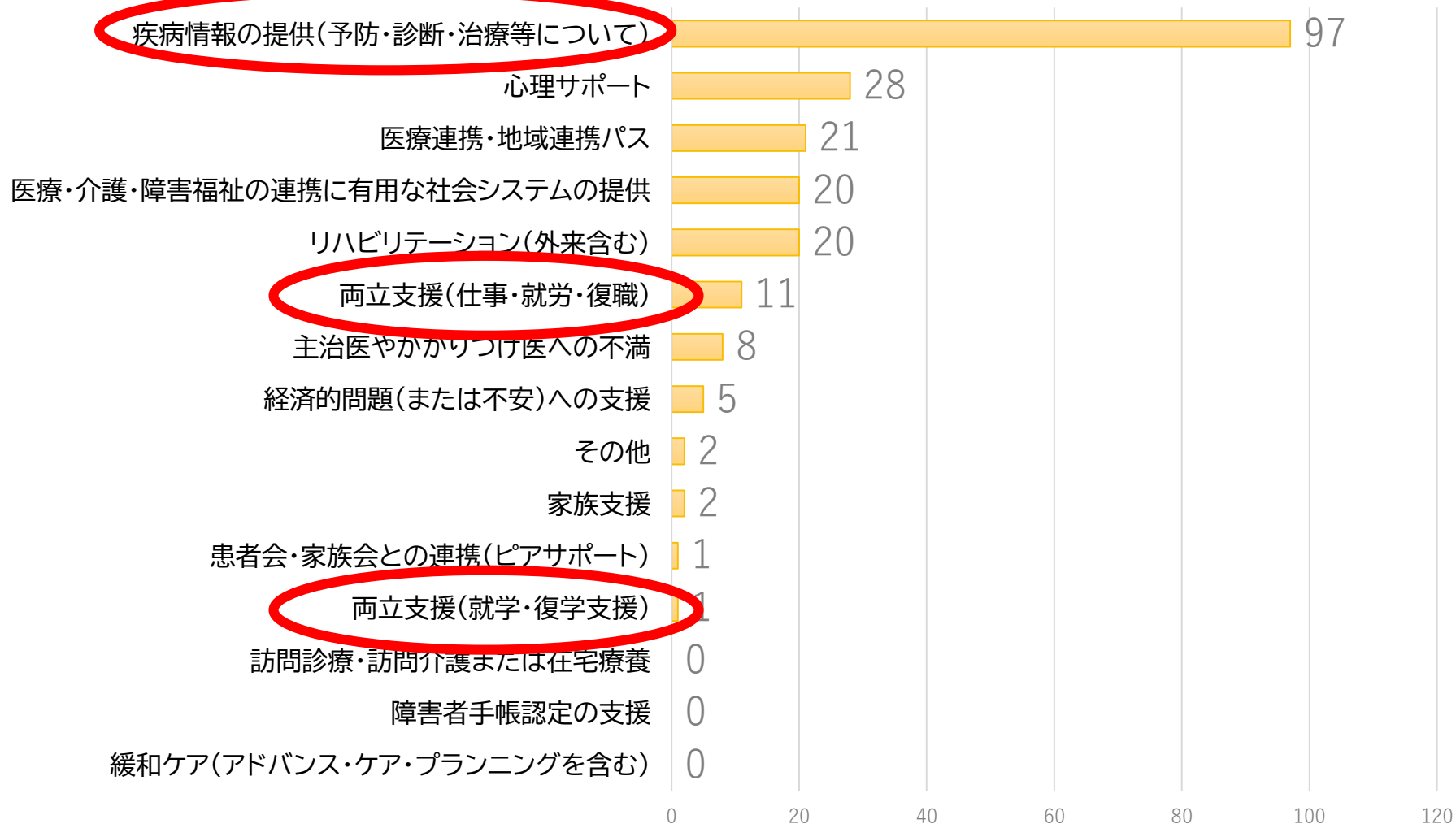
のべ対応件数



患者家族への支援であった場合も、患者本人への支援としてカウント

支援内容

のべ対応件数:216件



<その他> 術後の生活について

疾患啓発

令和5年度 県民公開講座

回／日	演者	プログラム
第1回 (9/11)	医師	「不整脈と脳卒中」
	慢性心不全看護認定看護師	「心不全ってなに？」
第2回 (10/26)	管理栄養士	「脳卒中を予防するお食事」
	薬剤師	「脳卒中とお薬の付き合い方」
第3回 (11/14)	管理栄養士	「心臓病を悪化させない食事のコツ」
	薬剤師	「心臓病緒お薬との付き合い方」
第4回 (1/25)	理学療法士	「心臓リハビリで心臓病の再発を予防しよう」
第5回 (2/20)	理学療法士	「脳卒中後の維持期のリハビリについて」
	社会福祉士	「脳卒中後の在宅医療について」

令和5年度 医療者講演会

回／日	演者	プログラム	参加者数
第1回 (12/14)	医師	「脳卒中治療の最前線」	99人
	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	「脳卒中とリハビリ」～シームレスな地域連携を目指して～	
第2回 (3/12)	医師	「小児期から成人期までの一貫した循環器病の診療支援」 ～循環器病を有する患者・家族への支援体制の構築について～	50人
	小児看護専門看護師	「先天性心疾患の子どもの医療、保健、福祉」 ～成長発達を支援し生活を支える～	

第1回県民公開講座「高血圧を予防しよう」

日 時：2024/10/20(日)
14:00～16:00

会 場：土手町コミュニティパーク
多目的ホール（弘前市）

対 象：青森県民どなたでも

参加費：無料

申 込：不要

参 加：93名

予約不要
先着**80名**
※定員に達した場合
入場をお断りする
可能性がございます

第1回県民公開講座
**高血圧を
予防しよう**

2024.
10/20(日)
14:00～16:00
土手町コミュニティパーク
多目的ホール
(弘前市)

抽選会あります
**家庭用血圧計
が当たる！**

- ・減塩試供品
- ・試食コーナー
- ・だし活

**高血圧の予防と
治療の重要性**
中南地域県民局 地域健康福祉部
保健総室（弘前保健所）
医師 村上 光太郎氏

**高血圧の
お薬について**
さいとう調剤薬局 本町店
管理薬剤師 齋藤 武氏

脳卒中・心臓病等総合支援センターについて
弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座
(青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター長)
教授 富田 泰史氏

 **血圧をしっかり下げて健康寿命を延ばしましょう**

お問合わせ 青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター
☎0172-39-5459(直通) ✉noushincenter@hirosaki-u.ac.jp

 <共催> 特定非営利活動法人日本高血圧協会／青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター／弘前大学大学院医学研究科循環器腎臓内科学講座
<協賛> オムロンヘルスケア株式会社／カゴメ株式会社／大塚食品株式会社／亀田製菓株式会社
<後援> 弘前市

第2回県民公開講座「脳卒中とともに暮らす」

日 時：2024/11/3(日)
13:30～15:20

会 場：県民福祉プラザ4階
県民ホール（青森市）

対 象：青森県民どなたでも

参加費：無料

申 込：不要

参 加：49名

第2回県民公開講座
**脳卒中と
ともに暮らす**

減塩
試供品
試食あり

AED
心肺蘇生法
血管年齢
測定

推奨野菜
摂取量測定

詳細はこちらからも
ご確認ください

脳卒中の
予防と治療
弘前大学大学院医学研究科
脳神経外科学講座 教授
斉藤 敦志氏

高次脳機能障害と
リハビリテーション
弘前大学医学部附属病院
療法士長 作業療法士
西村 信哉氏

脳卒中の治療と
仕事の両立
青森産業保健総合
支援センター 副所長
小林 忠氏

2024.
11/3 日 **13:30～15:20**
受付12:30～

**参加
無料**

県民福祉プラザ4階 県民ホール（青森市中央三丁目20-30）

申込不要（定員300名に達した場合は入場をお断りする可能性があります）

お問い合わせ 青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター
☎ 0172-39-5459(直通) ✉ noushincenter@hirosaki-u.ac.jp

＜共催＞ 青森県・青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター／
青森産業保健総合支援センター／青森地域広域事務組合消防本部／公益社団法人 日本脳卒中協会 青森県支部
＜協賛＞ 大塚食品株式会社／カゴメ株式会社／亀田製菓株式会社

令和6年度 治療と仕事の両立支援セミナー

～脳卒中や心臓病の治療と仕事の両立を考える～

日 時：2024/11/23(土・祝)
13:30～16:00

会 場：新町キューブ3階
会議室（青森市）

対 象：青森県の事業所
人事労務担当者
産業保健スタッフ
両立支援コーディネーター等

参加費：無料

申 込：要

参 加：16名

令和6年度
治療と仕事の
両立支援セミナー
～脳卒中や心臓病の治療と仕事の両立を考える～

2024.
11.23(土)
13:30～16:00

参加無料
定員40名

お申込みはこちら
(締切11.21※)

場所：新町キューブ3階会議室（青森市）

講演①
「青森県の労働者の健康が短命県に及ぼす影響」
独立行政法人 労働者健康安全機構
青森産業保健総合支援センター 所長 中路 重之氏

講演②
「不整脈治療を受けている方が
安全に働いてもらうために」
弘前大学大学院医学研究科
むつ下北地域医療学講座 講師 石田 祐司氏

講演③
「病気を抱えながら働き続けるために
～当事者の視点から～」
脳卒中と向き合う活動団体OneFeels 代表 佐々木 三之氏

お問合せ先 青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター
☎ 0172-39-5459(直通) ✉ nouchincenter@hirosaki-u.ac.jp
🌐 <https://www.hirosaki-nouchincenter.jp/>

共 催 青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター
青森産業保健総合支援センター

令和6年度 青森県医療者講演会

各病期における脳卒中患者との関わり～多職種による医療連携～

日時：2024/12/17(火)
18:00～19:15

会場：ウェビナー

対象：県内の医療従事者

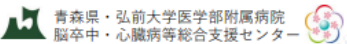
参加費：無料

申込：要

定員：500名

申込forms





青森県・弘前大学医学部附属病院
脳卒中・心臓病等総合支援センター

令和6年度
青森県医療者講演会

各病期における
脳卒中患者との関わり
～多職種による医療連携～

2024年**12月17日(火)**
18時～19時15分

会場：ウェビナー(定員500名)
対象者：脳卒中・心臓病の患者の
ケアや医療に関わるスタッフ
参加費：無料

第1部 18時05分～18時35分

「**脳卒中の回復期リハビリテーション**」
一般財団法人黎明郷
弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
医師 馬場 佳子 先生

第2部 18時35分～19時05分

「**生活期脳卒中患者との関わり**」
医療法人雄心会
青森新都市病院・医療支援課 係長
医療ソーシャルワーカー 張間 絢子 先生

Q & A 19時05分～19時15分

質疑応答

お問い合わせ・申し込み

青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター
✉ noushincenter@hirosaki-u.ac.jp
☎ 0172-39-5459(直通)
🌐 <https://www.hirosaki-noushincenter.jp>



申し込みはこちら

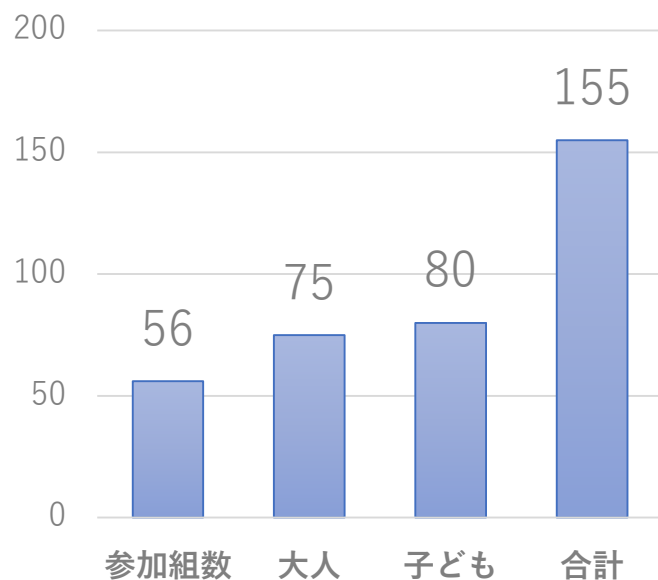
主催：青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター
後援：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター／青森新都市病院

脳卒中と心臓病教室～親子で体験してみよう～

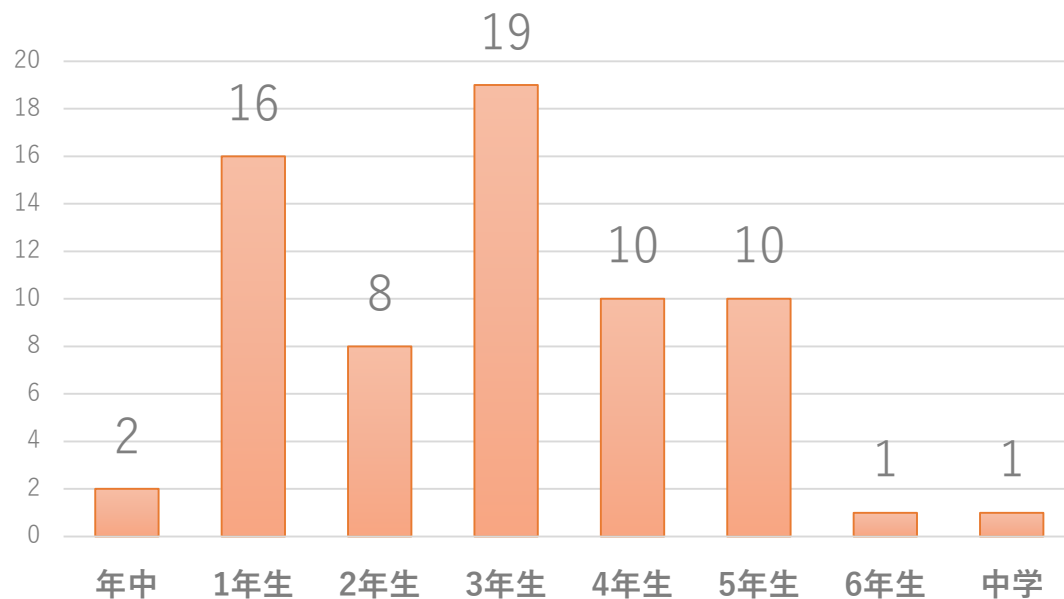
実施アンケート回答数
子供74名 大人55名
回答率: **83%**
(一部未記入ありを含む)



参加人数 155名



参加した子供の年齢



生活習慣病予防教室in小学校



生活習慣病予防教室

①城東小学校（弘前市）

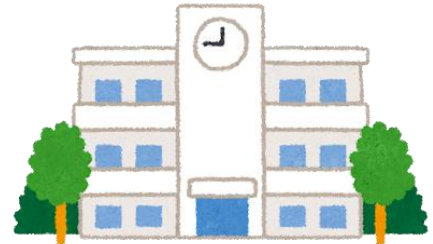
日時：2025/2/21(金) 13:00～14:30

対象：城東小学校6学年43名 ※当日参観日

②大成小学校（弘前市）

日時：2025/2/27(木) 13:30～15:20

対象：大成小学校6学年40名程度



講師

センター員（医師2名、看護師2名、社会福祉士1名）
医学生10名程度、養護教諭、保健師、栄養士等

脳卒中と心臓病の川柳コンテスト

募集期間

令和5年12月1日

～令和6年2月15日

令和5年度 みんなで気を付けよう！

脳卒中と心臓病の川柳コンテスト



のうしん博士
賞
(最優秀賞)

血圧計

勝った負けたと

老夫婦

ハシビロコウ



しんぞうさん
賞
(優秀賞)

ちよつと待て

そのドキドキは

恋じゃない

さんがつ



しんぞうさん
賞
(優秀賞)

しよっぺーよ

孫に言われて

醤油置く

きよ太郎



センター員特別
賞
(佳作)

家族から

長寿のために

塩対応

福ちゃん

ライトアップ事業①

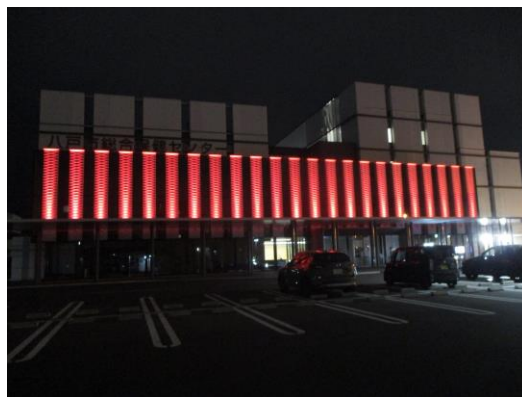
健康ハートの日

(日本心臓財団、日本循環器協会、日本循環器学会、日本AED財団)

日時：2024/8/10(日) 18:00～21:00



青森銀行記念館
(弘前市)



八戸市総合保健センター
(八戸市)

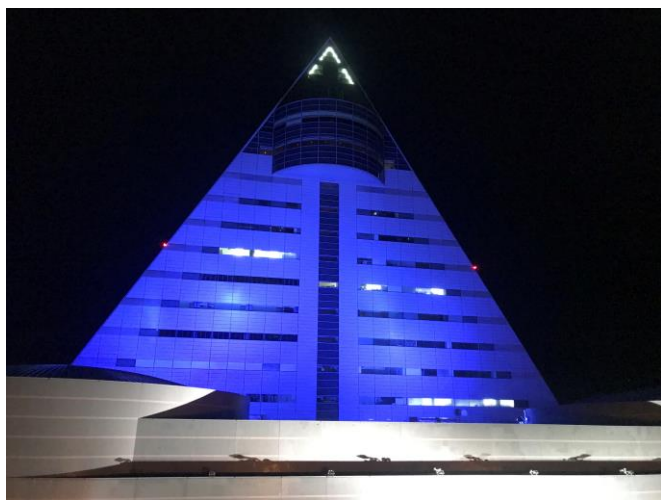


展望台北の防人
大湊海望館
(むつ市)

ライトアップ事業②

世界脳卒中デー（日本脳卒中協会）

日時：2024/10/29(火)18:00～21:00



アスパム
(青森市)

+

青森銀行記念
(弘前市)



八戸市総合
保健センター
(八戸市)



展望台北の防人
大湊海望館
(むつ市)



イベントブース出展①

カルチュアロード2024（弘前市）

地域の福祉と文化の向上に寄与するイベント



血管年齢測定 ベジチェック



人体パズルコーナー

イベントブース出展②

脳卒中と秋祭り（八戸市）

脳卒中当事者が主催する脳卒中当事者のためのイベント



脳神経外科学講座
斉藤敦志教授による講演



塩分計算
コーナー



病病連携

心不全療養指導士／心リハ指導士



1

心不全の発症・進展の予防の重要性を理解し、その予防や啓発のための活動に参画することができる

2

心不全の概念や病態、検査、治療について理解し、それをもとに病状などを把握することができる

3

心不全の進展ステージに応じた予防・治療を理解し、基本的かつ包括的な療養指導を実施することができる

4

医療機関あるいは地域での心不全に対する診療において、医師や他の医療専門職と円滑に連携し、チーム医療の推進に貢献することができる

5

心不全患者に対する意思決定支援と緩和ケアに関する基本的知識を有している

心リハ指導士とは？

心リハ指導士とは？

心臓リハビリテーション指導士認定制度委員会 明石嘉浩

認定制度成立の経緯と認定趣旨について



心臓リハビリテーション（以下心臓リハビリ）は、かつては急性心筋梗塞後の離床とデコンディショニング（脱調節）予防が主たる目的でした。

しかし、近年では再灌流療法やCCUの普及、心臓手術の進歩により早期離床・早期退院が可能となったため、冠危険因子是正による二次予防（再発予防）のための心臓リハビリへと目的が変わってきています。

つまり心臓リハビリは単に運動療法のみを行ってはいけず事足りるものではなく、食事療法や禁煙指導を含めた包括的リハビリを目指すべきであり、そのためには、医療専門職間の連携や共同作業（チーム医療）が必要となります。

また、チームが円滑に機能するためには、心臓リハビリに関する共通認識と知識や用語の共有化、定期的なカンファレンスやミーティングなども行う必要があります。このような状況の中、日本心臓リハビリテーション学会は、心臓リハビリテーション指導士（以下、心臓リハビリ指導士）の認定制度を2000年に発足させました。

日本心臓リハビリテーション学会 心リハ指導士とは？：

<https://www.jacr.jp/jacrreha/system/about2/>

日本循環器学会 心不全療養指導士：<https://www.j-circ.or.jp/chfej/>

青森県内認定者：17名

青森県内認定者：53名

心不全療養指導士Network Meeting

～心不全パンデミックに立ち向かう～

日 時：2024/7/29(月) 17:30～18:30

対 象：青森県の心不全療養指導士
不全患者に関わる医療従事者
心不全療養指導士に興味のある方

内 容：①「**当院での心不全療養指導士の現状と活動**」

弘前大学医学部附属病院入院棟東4階（循環器病棟）

副看護師長 上野 由美子先生

②「**心臓リハビリテーションに携わる立場から**」

青森県立中央病院 心大血管リハビリテーション科

佐々木 玲先生

③**心不全療養指導士ネットワークミーティング**

心不全療養指導士Network Meeting

～心不全パンデミックに立ち向かう～

参加者（会場＋オンライン）

108名

開催後アンケート

- 症例ベースでのディスカッションがあると面白い。
- 薬剤師や栄養士など、他職種から話を聞いてみたい。
- 院内の心不全カンファレンスの様子などもわかると、とても参考になる。
- 弘前大学医学部附属病院で使用する心不全手帳が気になる。
- 施設の状況をシェア出来るのは参考になる。自院の足りない部分なども明確になる。
- （他施設で）心不全に関する勉強をどのように行っているか知りたい。
- 開催時間（17：30～）がとても助かる。
- 使っているツールなども共有できる機会があればよいと思った。
- 心不全療養指導士になりたいと思った。

第2回心不全療養指導士Network Meeting

日 時：2025/1/27(月) 17:30～18:30

会 場：ウェビナー

弘前大学医学部附属病院（メイン会場）

参加者各医療機関（サテライト会場）

対 象：青森県の心不全療養指導士

心不全患者に関わる医療従事者

心不全療養指導士に興味のある方

参加費：無料

共催：青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

日頃よりご協力頂き
ありがとうございます。



引き続きよろしくお願いいたします。